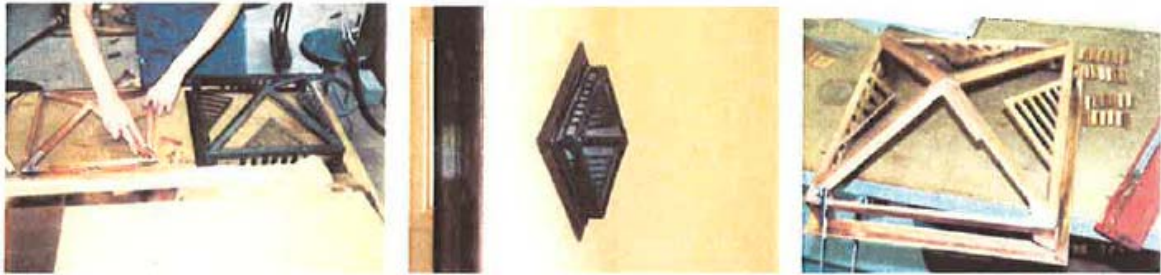


1. 活動状況

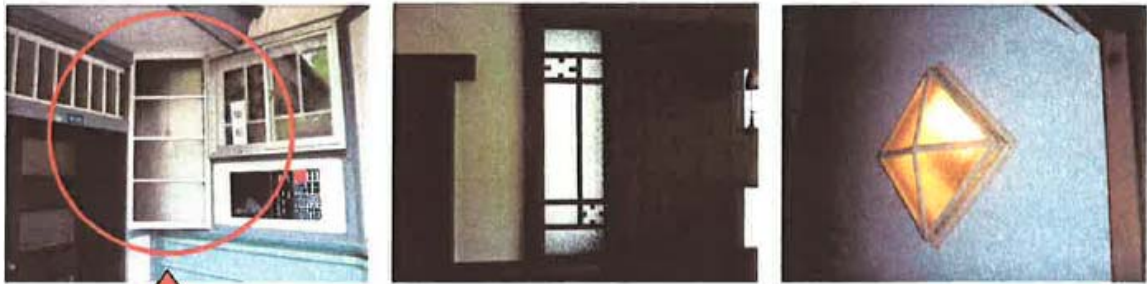
団体名	NPO小樽ワークス
対象事業	歴史的資産の保全・再生・活用
事業名	坂牛邸復元計画プロジェクト
事業目的	旧坂牛邸を保存再生活用する事業を通じて、小樽市内の歴史的建造物とまちなみの保存再生活用を中心としたまちづくり活動を行ない、新たなコミュニティの場を創造することを目的
実施期間	平成22年10月～平成23年3月
実施活動内容	<p>玄関前の失われた照明器具の復元に向けて、考察や検証を行い、図面の作成を行なった。2008年にオープンした同じく田上義也設計である旧小熊邸（昭和2年創建）の復元時に、照明器具の復元を行なった東田秀美氏に聞き取り調査を実施した。また、旧小熊邸の照明器具の作成工程と現存する坂牛邸の照明器具などを検証し、素材や作業工程を検討した。</p> <p>坂牛氏から提供された、創建時の写真を元に、復元の図面を作成し、製作費用が捻出できれば、照明器具復元の製作が出来るような段階までたどり着くことが出来た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 坂牛邸、旧小熊邸ともに、照明器具の素材は、ブリキ。濃い緑色の塗装がなされている。 施工技術から、板金業者さんに依頼したものと見受けられる。 ブリキは錆びがくること、ガラスの重みに耐えられる素材ではないので、長期間の使用に耐えられず、破損したと思われる。 玄関内部側は現存しているが、蝶番が破損しており、釘で止めている。錆びはかなり酷い状態。 現在の表側は、一回り大きな造作に仕様変更しており、創建時の照明器具は、一回り小さなものであったと思われる。 古い写真資料からデザインを起こし、現状の器具を採寸し、復元する照明器具の図面を作成することが出来た。
今後の課題 将来計画等	<ol style="list-style-type: none"> 照明器具の図面が出来たので、製作費を捻出して、復元したい。 資料を取りまとめし、報告書として整理する必要がある。 他の部分の照明器具（応接室や食堂など）のデザインを考察出来るよう、資料を掘り起こしたい。 <ul style="list-style-type: none"> 報告書を進化させ、「保存改修検討の軌跡（仮）」などの冊子を作成し、関係機関への情報提供の実施。 オーナーや建築士などを対象とした、保存活用に必要な改修工事のポイントなどの勉強会の開催。 改修プラン計画策定後、助成財団など関係団体への工事費用の協力依頼の実施。 改修工事のための寄付キャンペーンの展開、基金の設立の準備。 優先順位別に、改修工事の着工。



<参考とした、旧小熊邸の照明器具の写真>



<参考とした、旧小熊邸の照明器具の復元資料>



<現在の坂牛邸 照明器具の現状 左2つは創建時から現存中>



<創建時の坂牛邸の写真 現在は照明器具が失われている>

申請事業の遂行状況が分かる写真をコメント付きで添付してください

※ 引伸ばして使用する場合がありますのでリサイズしていない写真データも提出願います。